

# みよし市福祉・医療・介護長期構想(案)のパブリックコメント結果について

## 意見募集案件

【案件名】みよし市福祉・医療・介護長期構想(案)

【募集期間】平成 28 年 2 月 1 日(月曜日)から平成 28 年 3 月 4 日(金曜日)まで

## 意見募集の結果について

本市では、すべての市民が地域で安心してその人らしく暮らしていけるようにするため、福祉・医療・介護の総合的な支援の指針となる「みよし市福祉・医療・介護長期構想」を策定します。この長期構想の中で、みよし市は 20 年先を見据えた長期的な視野に立った、みよし市の取り組むべき方向性と市民の将来像を明らかにします。

今回は、その計画案がまとまりましたので公表し、パブリックコメント制度により市民の皆さんからのご意見を募集しました。その結果、3 人から 3 件のご意見をいただきました。ありがとうございました。

ここに寄せられた 3 件のご意見について、みよしの考え方を公表いたします。

## 寄せられた意見とみよしの考え方

	意見の趣旨	市の考え方(対応)
1	「買い物難民」、「ちょっとした体の不調」、「病院・医院への通院手段」、「介護施設への入所」などの高齢者にとっての不都合な状況が考えられますが、長期構想では具体的にどのようなことをしようとしているのかわかりません。みよしの人口構成を考慮してどのような施設が必要か、みよし市をどのような町にするのかを考えていただき、安心して住み続けることができるよう施策を考えていただきたいと思います。	みよし市福祉・医療・介護長期構想は、みよしの福祉・医療・介護に関する施策の長期的な方向性を示すものです。福祉・医療・介護等の各関連計画は、制度に基づく短期的な施策を記載していますが、それらの施策の総合的な成果として実現される“みよしの将来像”については十分に説明されていません。長期構想では、福祉・医療・介護等の各施策に関する“みよしの将来像”を示し、将来像に向けてのみよしの取り組みと市民の将来の姿を明らかにします。 今後長期構想に基づき、福祉・医療・介護等の各関連計画で具体的な施策を検討していくこととなります。

<p>現在、子供の食の現状について考え「子供食堂」をこの地域で立ち上げようと計画しています。</p> <p>今回「みよし市版地域包括ケアシステム」の構想案を読み、子供食堂は3つの柱 2地域の助け合いで、安心生活をサポートに通じます。</p> <p>行政だけで多くの子供らをケアするのは難しいです。しかし私達市民は行政にサポートして連携してもらえるだけで、力を発揮します。子供食堂はいずれ子供だけでなく、地域で一人で食事をしている高齢者の方々も参加し、世代を越え心暖まる場になり得るとおもいます。どうか市民自身が盛り上げようとするこの力をサポートしていただけたらと期待し、意見させてください。宜しくお願いします。</p>	<p>貴重なご意見有難うございます。また「子ども食堂」を市民の力で実施しようとするお考えに敬意を表します。</p> <p>ご意見にありますよう、現在取り組まれている「子ども食堂」の活動は今回の長期構想の「Ⅱ-2 多様な地域活動を育てます」の理念に沿ったものだと考えます。今後この長期構想に基づき、この様な活動が広まっていくことを期待しています。</p> <p>一方、この長期構想は、20年先を見据えた長期的な視野に立ったみよし市の取り組みと市民の将来の姿を明らかにするものでもありますので、個別の取組みや活動等につきましては、福祉・医療・介護等の各関連計画で検討し、また必要に応じて適切なサポートを実施していくこととなります。</p>
<p>市民の安全安心を(短期・中期・長期)の活動計画に織り込んで頂きたいと提案します。</p> <p>1-健保をとりまく現状 高齢化社会を想定すると、80歳以上は要介護、75歳以上は要支援、大半の人が介護や支援を必要とします。早急に健康寿命を延ばす政策が求められます。現状を見直す項目は(①医療を受ける側 ②行政&amp;健保 ③医療提供側 ④他)それぞれの問題を顕在化し、生きた対応をとる事が大切です。</p> <p>3 2-私なりの現状把握 行政として市民の健康に対する意識は年代別にどのような傾向か。又、市民の健康状態(健常・準健常・経過観察・通院)者等、把握しきれていないのが現状で、有効な対策が打たれていないと想定します。市民が平均寿命まで元気に生活できる姿(健康寿命)を延ばす。それには、現在の準健常者と健常者が不健康にならないための政策重点指向することです。そして、全国に誇れる、健康寿命一番の市にしたいものです。</p>	<p>数々の貴重なご意見有難うございます。</p> <p>今回の長期構想は、まさにご指摘をいただきました「4-行政現場の改革が必要」の「④短・中・長期ビジョン展開が示されていない」ことに対して、20年先を見据えた、みよし市の福祉・医療・介護に関する施策の長期的な方向性を示すものです。</p> <p>また、「2-私なりの現状把握」でご指摘をいただきました健康寿命や、「3-健保&amp;行政問題と改革(提案)」の「⑤健康に対する無頓着者」などは長期構想の柱の一つでもあります。</p> <p>数多くいただきましたご意見の中には、医療費や健康保険組合に関するもの、マイナンバー制度の活用や医療関連のご提言等、すぐには対応が困難なものも含まれますが、具体的なご提言に関しては関係各課でご意見を共有し、今後の参考とさせていただきます。</p> <p>また、ご提言いただいたもので既に似たような取り組みを実施しているものについては、一層の周知を行います。</p>

### 3-健保 & 行政問題と改革(提案)

- ①無関心の人へのアプローチが出来ていない
- ②マイナンバー制度の中で市民の健康診断結果を掌握する
- ③医療費の明細が月々郵送されて来ていますが、生かされていない
- ④健康診断結果の検査項目が解読できない
- ⑤健康に対して無頓着(無責任)者への、対応が甘い
- ⑥身障者・生活保護手当てを不正受給している人が多いと新聞等で目にする
- ⑦高齢者の日常生活の安全確保が不十分
- ⑧医療費補助し健康寿命を延ばす

### 4-行政現場の改革が必要

- ①現状の健保財源(項目別使用状況)が不明確
- ②マイナンバー制度スタートにより(健保 & 行政)の事務事業削減の効果が表れる
- ③マイナンバー制度で、医療機関全てネットワーク化する
- ④超高齢化社会に対する、短・中・長期ビジョン展開が示されていないため、市民は将来を不安がっている
- ⑤市民が集う運動施設が不十分

### 5-私が考える(医療提供者)の課題と対応策

- ①未然防止の指導が不十分－医師が未然防止の為に指導を行ったら診療報酬の中に、特典を設ける
- ②患者から要望があれば専門科以外の薬も簡単に出す－必要な薬だけ処方する
- ③医師へ要望しないとジェネリック薬を出さない－ジェネリックを優先
- ④薬局で投薬を受ける際、ムダと思われる事が多過ぎる－必要な人だけにして簡素化する
- ⑤高価な検査機器の設置－高額な検査は、特定検査機関を設け、その設備の稼働率を上げ検査費を減らす

### 6-市民が運動する習慣を身につける為の課

題と対応策

- ①(例)手始めに、ウォークモデル者を各町100名程度募集し運動習慣を競い合わせ、ウォークの輪を広める
- ②運動用具を各町(公民館)等に配置。運動アドバイザーを各町へ派遣する
- ③三好池でウォーク大会を企画し市民へ参画呼びかけを行う
- ④市内、各町単位で健常者比率UP競争の企画推進
- ⑤運動している人への援助不十分
- ⑥健康寿命推進特区を制定しモデル行政区を作る

7-市民の健康(呼掛け)指導

- ①健康づくりの講演会を企画し市民へ参画呼びかけを行う
- ②行政として健康に対する書類は多く出されているが、市民に浸透していない
- ③健康意識の盛り上げが不十分
- ④肥満の人に対し、減量チャレンジ制度を設け減量した人へポイントを付与
- ⑤喫煙者へ、禁煙チャレンジし禁煙達成者へポイントを付与